株式会社コンセック

第56期（第2四半期）

CONSEC REPORT

令和4年4月1日～令和4年9月30日

証券コード：9895

TOP INTERVIEW ｜トップインタビュー

新時代を見据え、新技術・新工法でインフラ整備、環境問題に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、平素よりコンセックならびにコンセックグループ各社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

取締役社長　福田 多喜二

Q 第56期中間期の経営環境・業績について、概要をお聞かせください。

A 新型コロナウイルス感染者数の増加が続くなか、行動制限は徐々に解除されたものの、食品を含む生活必需品の相次ぐ値上げにより消費者心理が冷え込み、個人消費関連を中心に下押し圧力が強まりました。また、ロシア・ウクライナ情勢、急激な円安の進行、資源価格や原材料価格の高騰、供給制約の継続、米欧中経済の下振れ懸念など、わが国の経済を取り巻く環境は非常に厳しく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、切削機具事業においては、新製品の発売に向けての開発、特殊工事事業においては、ダム、高速道路、橋梁等の公共インフラの整備等の大口案件の受注に向けての対応力強化、その他の事業においても今後の事業展開を見据えての営業活動の推進を行ってまいりましたが、切削機具事業、特殊工事事業をはじめとするほとんどの事業分野で、資源価格や原材料価格の高騰、供給制約及び人材不足の影響を受ける状況となりました。

この結果、売上高は45億32百万円（前年同期比5.1％減）となりました。営業損失は65百万円（前年同期は営業損失5百万円）、経常損失は48百万円（前年同期は経常利益17百万円）となりました。特別利益として投資有価証券売却益など2百万円（前年同期は投資有価証券売却益など5百万円）、また、特別損失として、固定資産除売却損など1百万円（前年同期は投資有価証券評価損など8百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失17百万円）となりました。

Q 今後の見通しと取り組みについてお聞かせください。

A 今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の完全収束が見通せないなか、経済活動に係る制限は徐々に緩和されてきたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化、エネルギー資源や原材料価格の高止まり、円安傾向、物価上昇など、国内経済を取り巻く環境は非常に厳しく不安定な状況がしばらく続くと思われます。

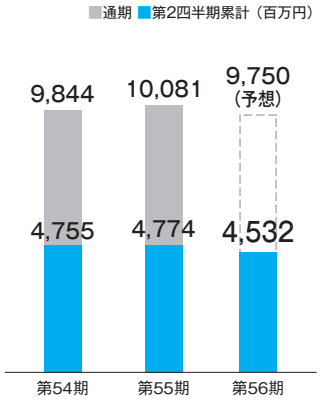
この様な経済状況のなか、当社グループでは引き続き感染症対策を徹底しつつ、新しい時代を見据え、安全で効率の良い環境にも優しい製品・工法を開発し、顧客の皆さまの期待に応えてまいりたいと考えております。そして、令和4年4月に策定した『中期経営計画』に掲げる ①利益体質の確立　②社員の成長　③独自開発による社会貢献　④事業規模の拡大という重点課題の克服に社員一同一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

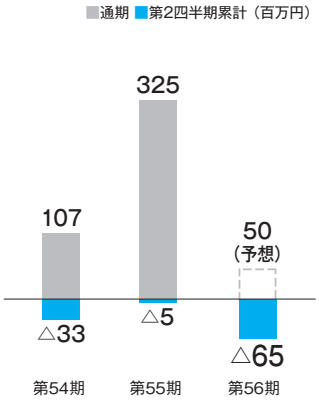
CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS | 連結財務ハイライト

詳細は当社ホームページに掲載されている「投資家の皆様へ」をご覧ください。
http://www.consec.co.jp/toushi/

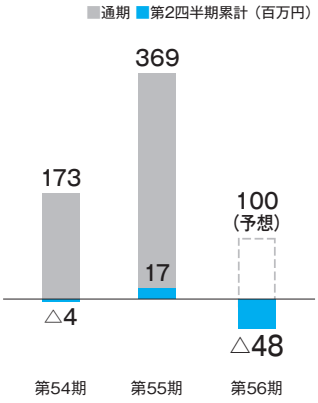
売上高



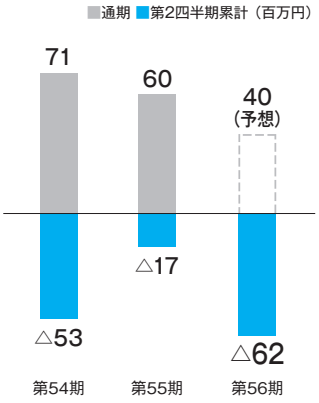
営業損益



経常損益



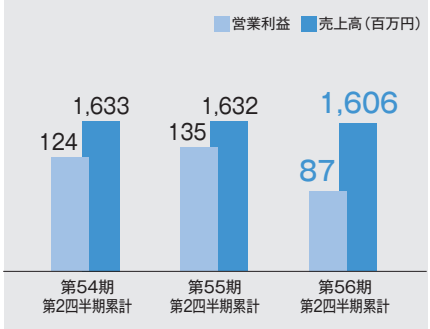
親会社株主に帰属する四半期（当期）純損益



SEGMENT REVIEW | 事業区分別の概況

切削機具事業

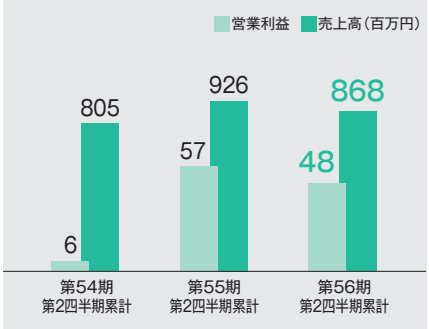
売上高構成比 35.4%



中小規模の顧客の需要が低調に推移したこともあり、売上高は前年同期並みとなりました。円安の影響により原価が嵩み営業利益は前年同期を下回りました。

特殊工事事業

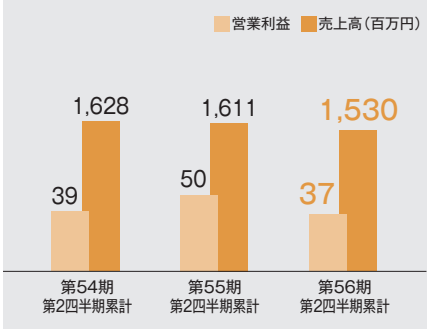
売上高構成比 19.2%



大型工事案件において台風被害等の影響により工期の延期があり、売上高、営業利益はともに前年同期を下回りました。

建設・生活関連品事業

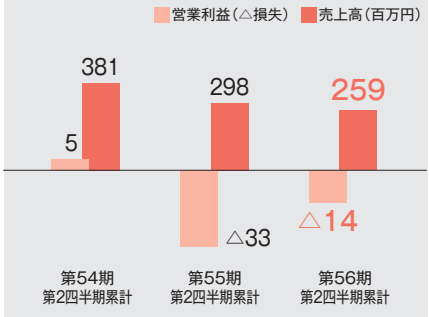
売上高構成比 33.8%



主要な顧客である中小建設設備関連事業者の需要が低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。供給制約及び値上げ等の影響もあり、営業利益は前年同期を下回りました。

工場設備関連事業

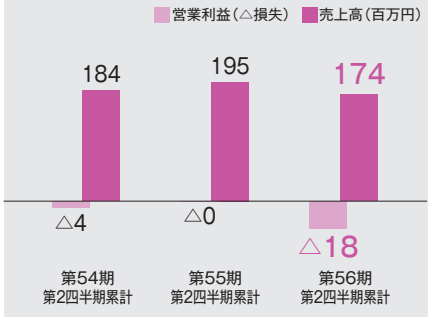
売上高構成比 5.7%



主要顧客からの受注は回復基調にあるものの、主要部品の供給制約の影響もあり、売上高は前年同期を下回り、原価が嵩み営業損失を計上しました。

介護事業

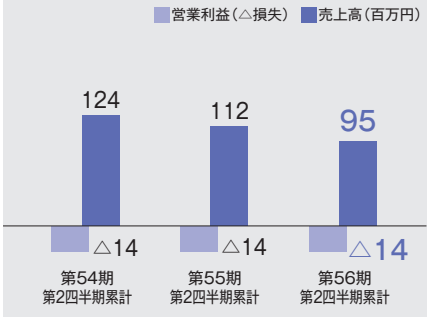
売上高構成比 3.8%



新型コロナウイルス感染症の影響で利用者の減少及び稼働日数の減少があり、売上高は前年同期を下回り、原価並びに販売費及び一般管理費のコスト削減に努めましたが、営業損失を計上しました。

IT関連事業

売上高構成比 2.1%



ソフトウエアの受託開発等の受注が低調に推移し、また、委託業務部門の売上の回復が遅れていることにより売上高は前年同期を下回り、原価削減に努めましたが、営業損失を計上しました。

TOPICS

環境に優しい
油圧ユニットE-2002A eco+（エコプラス）

主力製品のワイヤーソーやコアドリル、ウォールカッター等の動力源である油圧ユニットE-2002Aをマイナーチェンジし新発売しました。

使用される作動油はこれまでの一般鉱物系作動油からエコマークの認定取得及びNETIS登録した生分解性作動油を採用しました。この作動油は、機械の不慮の事故等で作動油が河川等に漏えいした場合にも、自然界に生息するバクテリアにより分解され、環境への影響が少なく環境適応型の油圧作動油となっています。

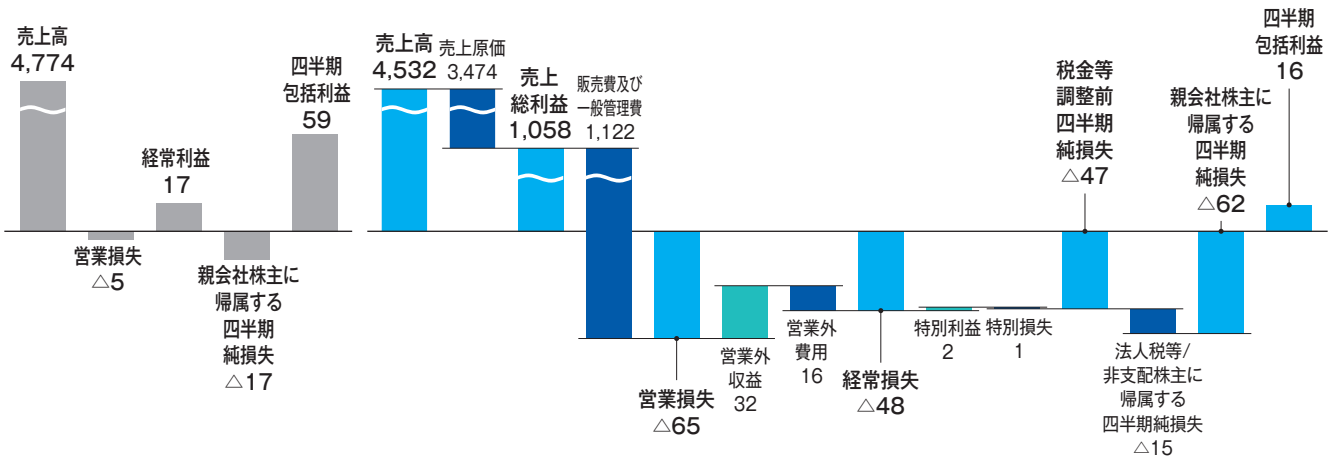
その他にも、工事現場での作業やメンテンスを容易にできるよう改良しています。

エコマーク認定	NETIS登録（新技術情報提供システム）
第04110015号	KT-200096-A （令和2年9月24日登録）
	QRコードから登録ページにアクセスできます。

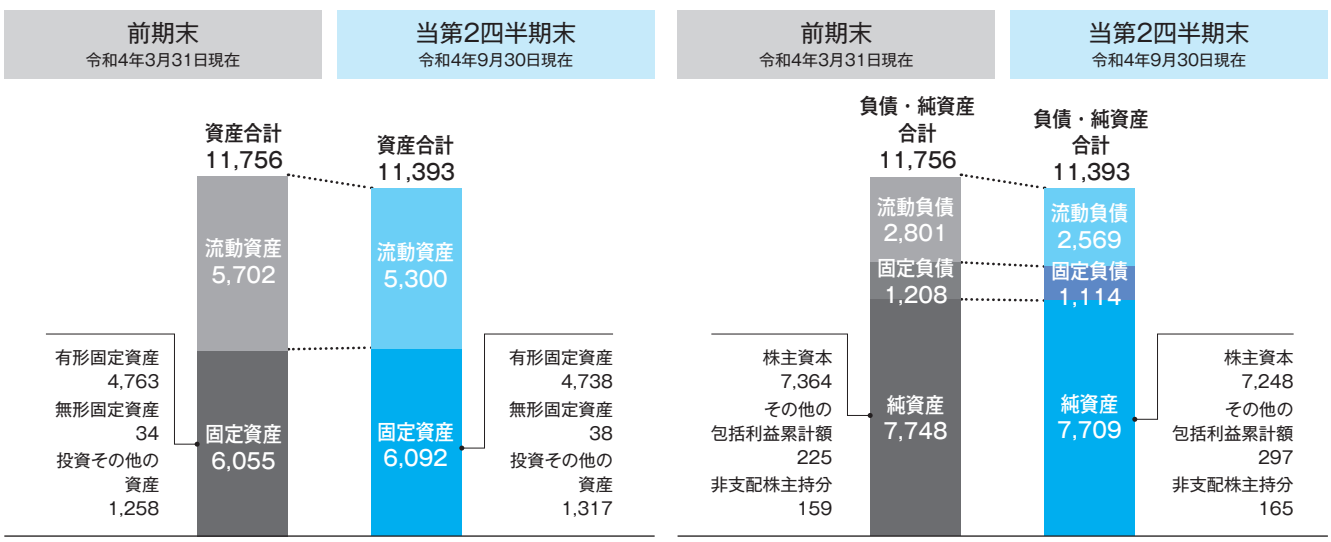
「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS POINT ｜四半期連結財務諸表のポイント

四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書の概要（百万円）



四半期連結貸借対照表の概要（百万円）



CORPORATE PROFILE | 会社情報

会社の概要 （令和4年9月30日現在）

社名 株式会社コンセック
（CONSEC CORPORATION）

本社所在地 広島市西区商工センター
四丁目6番8号
TEL（082）277−5451（代表）

設立 昭和42年11月6日

資本金 40億90百万円

従業員数 連結：470名(52名)
単独：233名(15名)
※（　）内は契約社員数

ホームページ http://www.consec.co.jp/

連結子会社

祥建企業股份有限公司（台湾・新北市）
南通康賽克工程工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
南通康賽克半導体工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
北斗電気工業株式会社（広島県呉市）
株式会社木戸ボルト（広島県呉市）
株式会社サンライフ（広島市西区）
株式会社デンサン（広島市南区）
山陰建設サービス株式会社（鳥取県米子市）
建設サービス島根株式会社（島根県松江市）

主な事業内容

【切削機具事業】
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造及び販売

【特殊工事事業】
アンカー工事、コアーボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等

【建設・生活関連品事業】
建設機械・工具、住宅・OA機器、生活関連機器等の販売

【工場設備関連事業】
自動制御盤、配電盤等の製造及び販売

【介護事業】
デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者向け賃貸住宅、障がい者デイサービス

【IT関連事業】
ソフトウエア受託開発

役員 （令和4年9月30日現在）

代表取締役会長	佐々木　秀　隆
取締役社長	福　田　多喜二
専務取締役	三　中　達　雄
取締役	岡　本　浩　一
取締役（社外）	藤　原　光　広
常勤監査役	竹　本　敏　範
監査役（社外）	長　井　紳一郎
監査役（社外）	小　松　節　子

ネットワーク （令和4年9月30日現在）

支店	東京、大阪
営業所	札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他19ヶ所
事業所	貿易グループ
工場	広島工場
物流センター	広島配送センター

STOCK INFORMATION | 株式の状況

株式の状況 （令和4年9月30日現在）

発行可能株式総数 2,860,000株

発行済株式の総数 1,864,011株

株主数 2,462名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
日本鉱泉株式会社	207,400株	11.6%
佐々木　秀　隆	202,000	11.3
株式会社ライフステージやまと	104,800	5.8
公益財団法人秀里会	71,600	4.0
株式会社もみじ銀行	58,320	3.3
コンセック役員持株会	52,900	2.9
コンセック従業員持株会	52,492	2.9
損害保険ジャパン株式会社	43,300	2.4
秋元利規	40,000	2.2
朝日生命保険相互会社	31,400	1.8

（注）1.当社は、自己株式を70,772株保有しておりますが、上記株主数及び大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.consec.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

CONSEC 株式会社コンセック
広島市西区商工センター四丁目6番8号　TEL（082）277−5451（代表）